

26

家族の思いと意思表示カード

大学生の姉が交通事故に遭い、救急病院で脳死とされうる状態と判定されました。姉は、臓器提供意思表示カードに臓器提供の意思があると記入していました。父は「私」に、姉の臓器を提供するかどうか、家族の一員として一緒に考えてほしいと言います。



《 1. 2. 3. いずれかの番号を○で囲んでください。》

- 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植の為に臓器を提供します。
- 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。
- 私は、臓器を提供しません。

〔1又は2を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。〕

【 心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球 】

〔特記欄： 〕

署名年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

本人署名(自筆)： _____

家族署名(自筆)： _____



臓器提供意思表示カード





臓器提供ってなんだろう

病気や事故などで身体の臓器の機能が低下し、他の人から臓器を移植することでしか治らない人がいます。臓器提供とは、移植を希望する患者に臓器を提供することです。

臓器提供には、脳死後の臓器提供、心停止後の臓器提供、健康な人からの臓器提供の三つの方法があります。

「脳死」とは、脳が機能を失いどんな治療をしても回復しない状態をいいます。自力呼吸はできませんが人工呼吸器をつけてしばらくは心臓を動かすことができるため、血液が流れ身体は温かい状態です。日本では臓器提供を前提にした場合にのみ、脳死は人の死とされます。

臓器提供を待っている人は約1万6000人、実際に臓器を提供されて移植できる人は年間400人ほどです。

